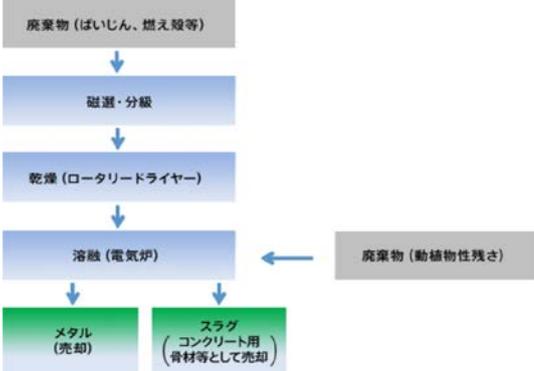


3.1 大平洋金属株式会社

3.1.1 事業者情報

名 称	大平洋金属株式会社			
本社住所	〒031-8617	青森県八戸市大字河原木字遠山新田 5-2		
資本金、出資金	13,900,000 千円			
従業員数	468 人			
設立年月日	昭和 24 年 12 月 1 日			
URL	http://www.pacific-metals.co.jp/index.php			
事業概要	産業廃棄物及び八戸市一般廃棄物処理施設から生じた焼却灰、県内で処理が課題となっているホタテ貝殻を調整材として配合し、直流電気抵抗式還元炉を用いて混合溶融することで、溶融スラグ(人工砂)、溶融メタルを製造する。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	大平洋金属 製造本部 環境事業部 焼却灰溶融課		
	担当者名	杉山 晋		
	連絡先	電話番号	0178-47-7251	
		FAX	0178-47-7255	
Eメールアドレス		n-sugiyama@pacific-metals.co.jp		

3.1.2 技術情報

キーワード	直流電気抵抗式還元炉			
技術名称	直流電気抵抗式還元炉による廃棄物の溶融・還元			
技術の分類	その他(電気炉での溶融・還元)			
目的・用途	溶融メタル: ウェイト原料及び金属資源 溶融スラグ: コンクリート用細骨材等の土木資材			
特長	重金属類を含む廃棄物を約 1600℃で溶融・還元してメタルとスラグに分離することで、メタルは金属資源化し、無害化されたスラグは土木資材等の資源として再利用出来る。			
設備、製品等の写真、イメージ	 <p style="text-align: center;"> 溶融スラグ配合コンクリート二次製品 溶融メタル 溶融スラグ細骨材 </p>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	燃え殻、ばいじん類	受入条件、形状	粒度: 0-30mm、水分: 10-30%、塩素: 4%以下、フッ素: 1%以下、ホウ素: 1%以下
	産廃	汚泥、動物性残渣、金属屑、ガラス屑、コンクリート屑、陶磁器屑、鋳さい	受入条件、形状	粒度: 0-30mm、水分: 10-30%、塩素: 4%以下、フッ素: 1%以下、ホウ素: 1%以下
供給資源・製品	溶融メタル		形状	粗破碎(0-20mm)
	溶融スラグ細骨材		形状	0-5mm

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源(ウエイト原料及び金属回収、コンクリート用骨材)としてリサイクルが可能であり、排出者はCSR(社会的責任)を向上させることができます。重金属を含む廃棄物も受け入れが可能です。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	溶融スラグは重金属を含まず、天然砕石由来の骨材と同等の品質があります。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	例年約80名の施設見学を実施。見学希望は随時受け付けます。

3.1.3 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	燃え殻・ばいじん	4,448	3,018	t
	汚泥	210	100	t
	ガラス・陶磁器屑	236	42	t
	動物性残渣	501	395	t
受入可能量	燃え殻・ばいじん	-	16,622	t
	汚泥	-	3,039	t
	ガラス・陶磁器屑	-	2,683	t
	動物性残渣	-	1,995	t
	金属屑	-	404	t
	鉱さい	-	2,683	t
販売実績量の推移	溶融メタル	0	516	t
	溶融スラグ	6,296	4,861	t
主な調達先	一般廃棄物処理施設、各業種製品製造ラインで発生する産業廃棄物			
主な供給先	溶融メタル: ウエイト製造メーカー、金属回収企業 溶融スラグ: 土木用コンクリート製造メーカー(当社溶融スラグを配合したコンクリート二次製品が、青森県リサイクル認定を取得しており、公共工事で優先的に使用頂いております)			
技術開発の実績(過去5年間)	約5千万円でブリケットマシンを導入。工程で発生した粉体を造粒して電気炉にリターンすることで、電気炉内原料のガス抜きが良くなり、操業の安定化となった(2011年)			

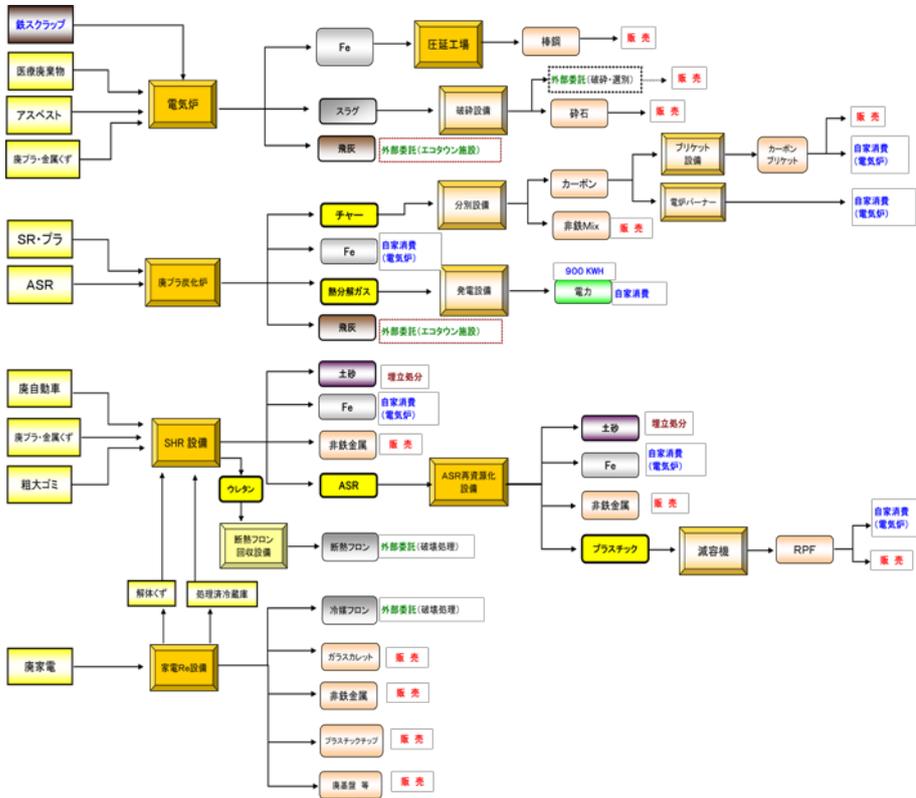
<p>設備投資の実績 (過去 5 年間)</p>	<p>約 5 千万円でブリケットマシンを導入。工程で発生した粉体を造粒して電気炉にリターンすることで、電気炉内原料のガス抜きが良くなり、操業の安定化となった(2011 年)</p>
<p>海外展開の実績 (過去 5 年間)</p>	<p>溶融メタルについて、海外への輸出実績あり。</p>
<p>補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)</p>	<p>過去 5 年間の活用実績無し。</p>

3.2 東北東京鐵鋼株式会社（東京鐵鋼株式会社八戸工場）

3.2.1 事業者情報

名 称	東北東京鐵鋼株式会社(東京鐵鋼株式会社八戸工場)			
本社住所	〒039-1161	青森県八戸市河原木海岸 4-11		
資本金、出資金	275,001 千円			
従業員数	人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	http://www.tokyotekko-recycle.jp			
事業概要	<p>東京鉄鋼八戸工場 1. 棒鋼の製造販売事業 <input type="checkbox"/>鉄筋コンクリート用棒鋼 <input type="checkbox"/>一般構造用棒鋼 <input type="checkbox"/>ネジフシ棒鋼 <input type="checkbox"/>ネジテツコン・ネジ継手</p> <p>2. 環境リサイクル事業 <input type="checkbox"/>特別管理産業廃棄物中間処理業（焼却・溶融） <input type="checkbox"/>産業廃棄物中間処理業（焼却・溶融）</p> <p>東北東京鉄鋼(株) <input type="checkbox"/>産業廃棄物中間処理業（破碎選別・焼却）<input type="checkbox"/>特定家庭用機器(家電)のリサイクル事業 <input type="checkbox"/>使用済み自動車のリサイクル事業</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	資源営業部		
	担当者名	東 一洋		
	連絡先	電話番号	0178-28-6561	
		FAX	0178-28-6565	
Eメールアドレス		kazuhiko_higashi@tokyotekko.co.jp		

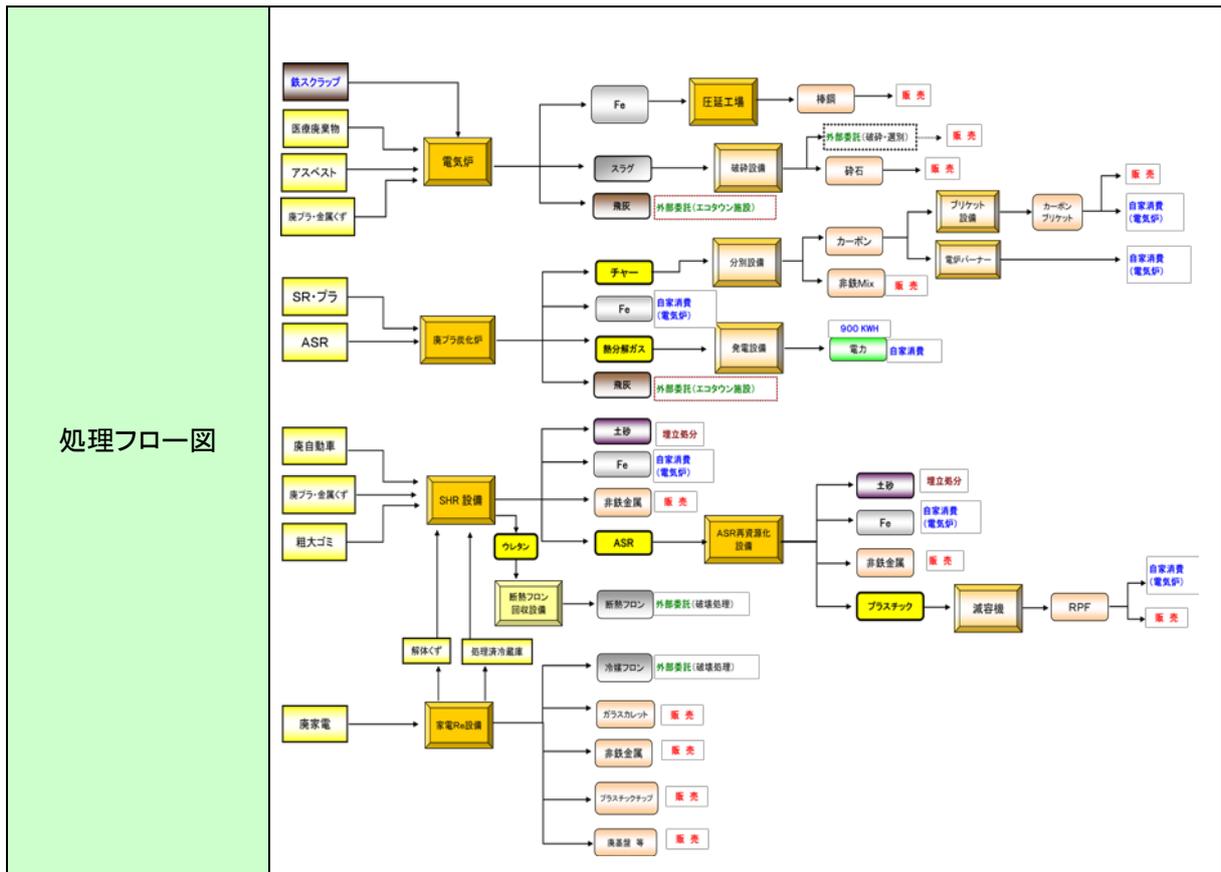
3.2.2 技術情報(1)

<p>キーワード</p>	<p>処理困難物</p>
<p>技術名称</p>	<p>製鋼電気炉による超高温処理</p>
<p>技術の分類</p>	<p>その他(溶融)</p>
<p>目的・用途</p>	<p>残渣の極小化と無害化処理</p>
<p>特長</p>	<p>安心・安全なリサイクル</p>
<p>設備、製品等の写真、イメージ</p>	
<p>処理フロー図</p>	

廃棄物の種類	特管産廃	廃石綿等	受入条件、形状	2重プラスチック袋をフレコン梱包・ドラム缶
	特管産廃	感染性医療廃棄物	受入条件、形状	専用容器
	産廃	汚泥(電池)	受入条件、形状	鉄製缶容器
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	フレコン梱包
供給資源・製品	砕石		形状	0-40
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	完全無害化が可能で安全にリサイクルできます。	

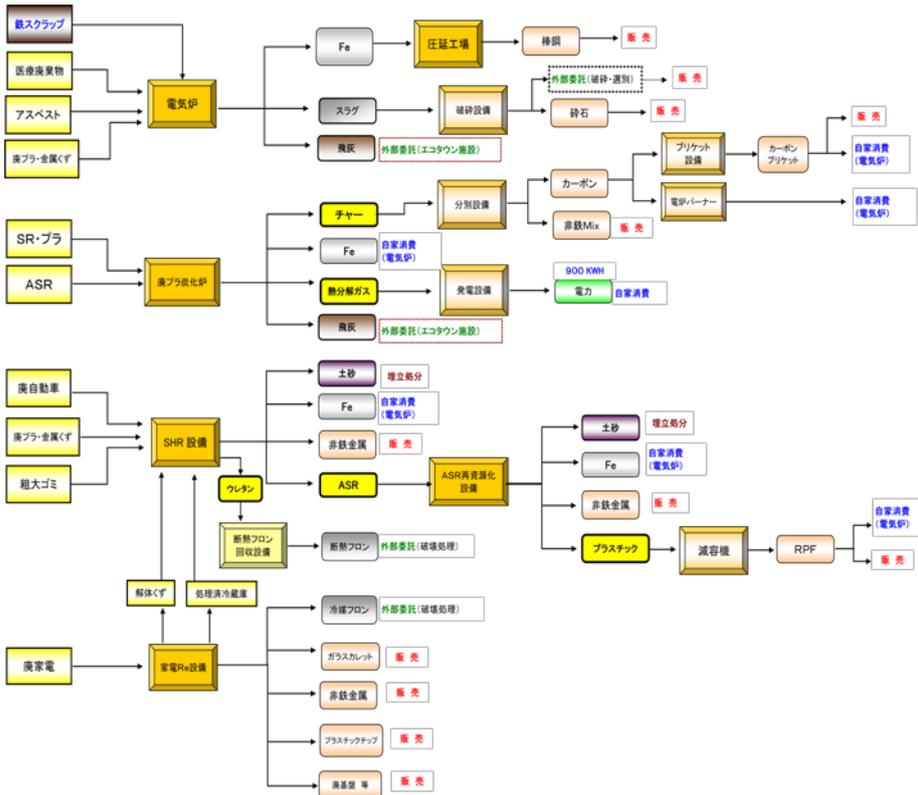
3.2.3 技術情報(2)

キーワード	ASRの再資源化処理		
技術名称	高度破碎選別		
技術の分類	破碎・選別・固形燃料化		
目的・用途	ASR(軽量物)の破碎選別		
特長	破碎選別で鉄や非鉄類の有用金属が回収された後、有機物は固形化され電気炉で燃料や還元材として活用されます。		
設備等の写真			



廃棄物の種類	自動車破砕残渣	ASR	受入条件、形状	
	産廃	廃プラスチック	受入条件、形状	破砕プラスチック
	粉体カーボン		形状	微粉
供給資源・製品	廃棄物等排出者側のメリット		<ul style="list-style-type: none"> ・焼却埋立処分されず新たな資源(粉体カーボン)としてリサイクルされます。 ・塩素を含まない廃プラであれば、どんな種類の廃プラでも受け入れ可能です。 	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	完全無害化が可能で安全にリサイクルできます。	

3.2.5 技術情報(4)

キーワード	金属くず			
技術名称	破碎・選別			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	金属くず等廃棄物資源の破碎選別による資源回収			
特長	廃車・廃家電・廃自販機・廃プラスチック等を破碎し素材ごとに選別・回収する施設です。			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	金属くず	受入条件、形状	厚さ3 mm 以下・長さ1000 mm 程度まで
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	バラ品
供給資源・製品	鉄屑		形状	シュレッダー

3.2.6 実績情報

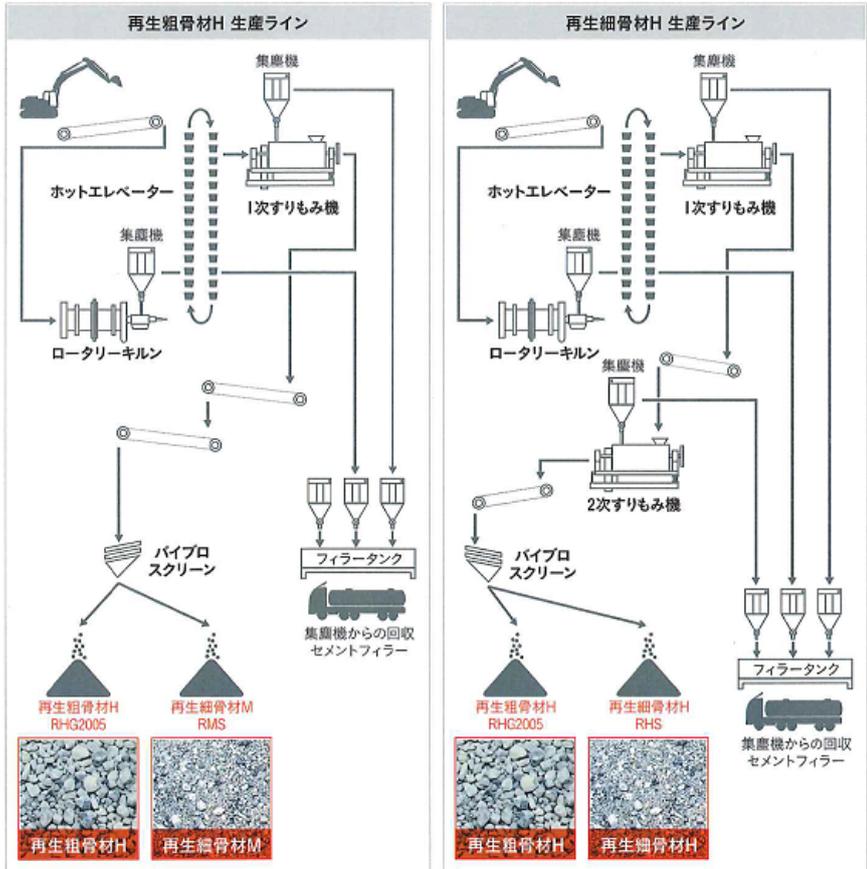
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	感染性廃棄物	非公開	非公開	t
	廃プラスチック類	非公開	非公開	t
	金属くず	非公開	非公開	t
受入可能量	感染性廃棄物	-	非公開	t
	廃プラスチック類	-	非公開	t
	金属くず	-		
販売実績量の推移	砕石	-	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			

8.3 成友興業株式会社

8.3.1 事業者情報

名 称	成友興業株式会社			
本社住所	〒197-0802	東京都あきる野市草花 1141 番地 1		
資本金、出資金	272,000,000 円			
従業員数	160 人			
設立年月日	平成 50 年			
URL	http://www.seiyukogyo.co.jp/			
事業概要	舗装工事業、土木工事業、とび・土工工事業、水道施設工事業、造園工事業、産業廃棄物処理業、汚染土壌処理業、再生建設資材生産販売事業、運送事業			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理本部		
	担当者名	青木 泰三		
	連絡先	電話番号	042-558-4111	
		FAX	042-558-4166	
E メールアドレス		aoki@seiyukogyo.co.jp		

8.3.2 技術情報(1)

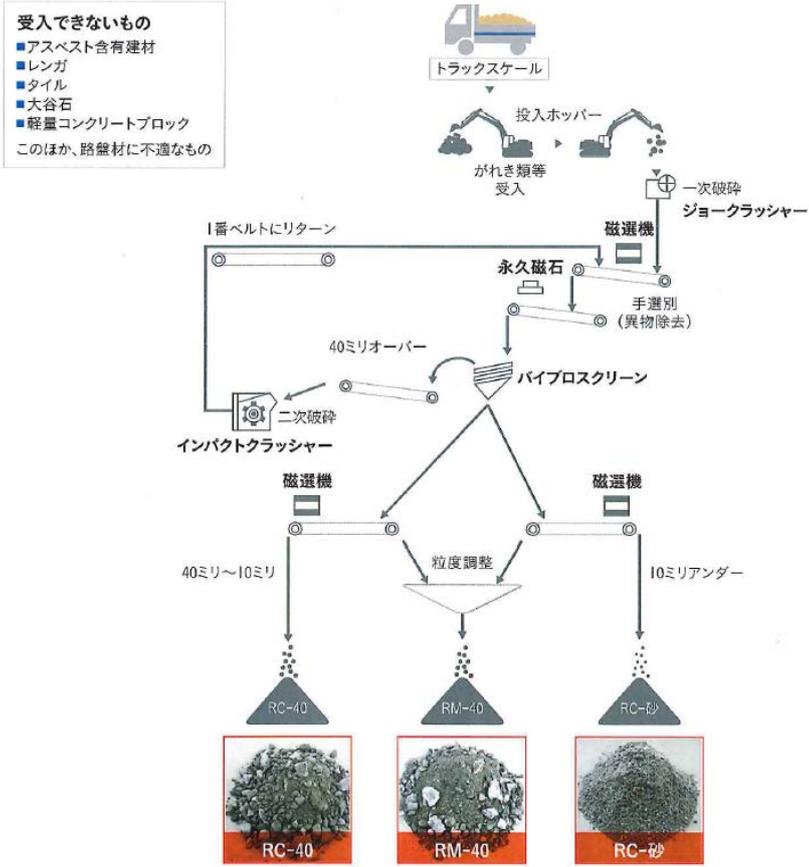
キーワード	がれき処理、優良産廃処理業者認定		
技術名称	中間処理業		
技術の分類	破碎・選別		
目的・用途	コンクリートガラを受入れ再生砕石を製造する		
特長	100%リサイクルを目指す		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	がれき類	受入条件、形状 コンクリートガラ、30cm以下 アスベスト含有は受入不可

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	運搬距離
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	販売価格
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	優良産廃処理業者認定

8.3.3 技術情報(2)

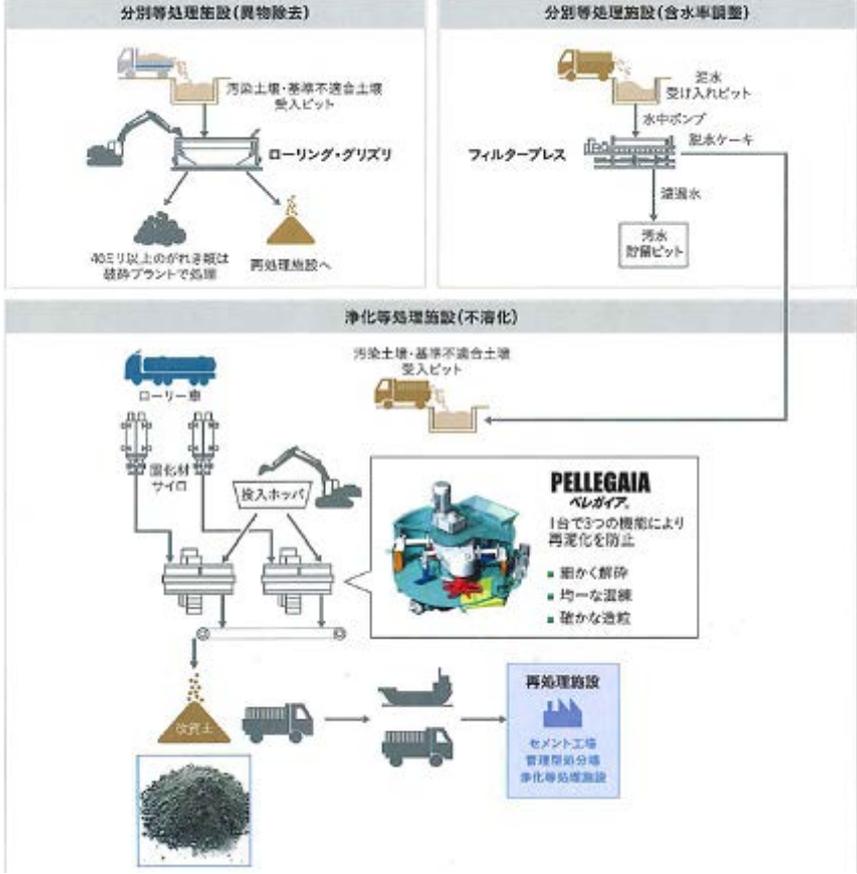
キーワード	加熱すりもみ、JIS 認証、再生骨材 H
技術名称	中間処理業
技術の分類	その他(再生骨材 H 品質)
目的・用途	生コンクリート原料の製造
特長	JIS 認定品
設備等の写真	

処理フロー図



廃棄物の種類	産廃	がれき類	受入条件、形状	アスベスト含有は受入不可
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	天然骨材と同等品の製造、天然骨材の枯渇を延命する	
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	販売単価、最新技術によるポイントアップ	

8.3.4 技術情報(3)

キーワード	汚染土壌			
技術名称	汚染土壌処理			
技術の分類	その他(汚染土壌処理)			
目的・用途	100%リサイクル			
特長	浄化処理施設(不溶化)、分別処理施設(異物除去、含水調整)			
設備等の写真				
処理フロー図	 <p>分別等処理施設(異物除去)</p> <p>汚染土壌・基準不適合土壌 受入ピット</p> <p>ローリング・グリズリ</p> <p>40ミリ以上のがれき等は 砕砕プラントで処理</p> <p>再処理施設へ</p> <p>分別等処理施設(含水率調整)</p> <p>汚水 受け入れピット</p> <p>水中ポンプ</p> <p>配水ケーシング</p> <p>フィルタープレス</p> <p>濾液水</p> <p>汚水 貯留ピット</p> <p>浄化等処理施設(不溶化)</p> <p>汚染土壌・基準不適合土壌 受入ピット</p> <p>ローリー車</p> <p>固石材</p> <p>パイロ</p> <p>投入ホッパー</p> <p>PELLEGIA ペレギア</p> <p>1台で3つの機能により 再泥化を防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 細かく破碎 ■ 均一な混練 ■ 確かな造粒 <p>水質土</p> <p>再処理施設</p> <p>セメント工場 管理用灰分 浄化等処理施設</p>			
廃棄物の種類	有償	その他(土壌)	受入条件、形状	第二溶出量 基準値以下

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	運搬距離、運搬回数
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	販売価格

8.3.5 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	がれき類	—	124,359	t
	汚泥	—	40,169	t
	汚染土壌	—	13,574	t
受入可能量	がれき類	—	150,000	t
	汚泥	—	40,000	t
	汚染土壌	—	60,000	t
販売実績量の推移	再生砕石	—	126,417	t
	改良土	—	8,328	t
	再生骨材 H	—	700	t
主な調達先	ゼネコン各社			
主な供給先	ゼネコン各社、道路会社			

8.4 株式会社リーテム

8.4.1 事業者情報

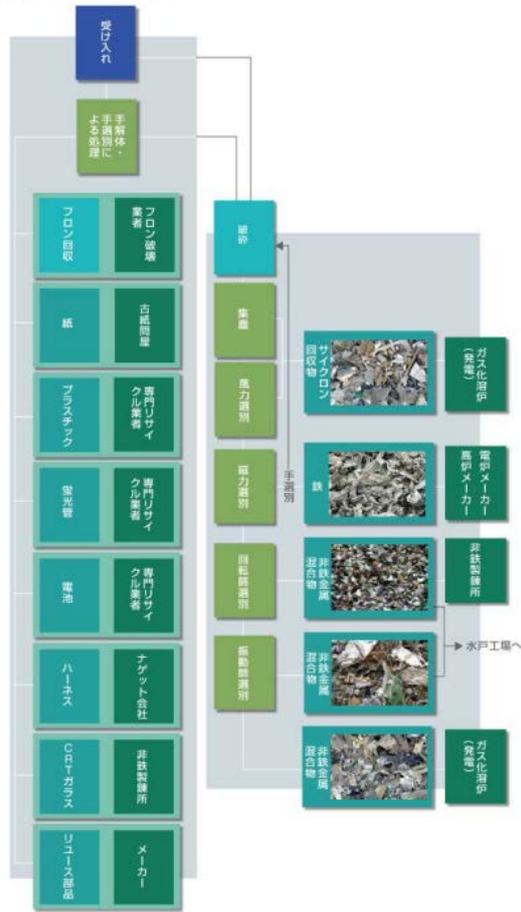
名 称	株式会社リーテム			
本社住所	〒101-0021	東京都千代田区外神田三丁目 6 番 10 号		
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数	146 人			
設立年月日	昭和 26 年 6 月 2 日			
URL	http://www.re-tem.com/			
事業概要	資源のリサイクル及びリユース / 製鋼原料及び非鉄貴金属原料の売買 / 建築物・工作物の解体・移設・撤去 / 資源循環・リサイクルに関するコンサルティング / エコインダストリアルパークなどにおけるリソースマネジメント及びエコセンターマネジメント / 産業廃棄物処分(中間) / 産業廃棄物収集運搬 / 一般廃棄物処分			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	マネジメント推進部		
	担当者名	工藤 博之		
	連絡先	電話番号	03-5256-7041	
		FAX	03-3251-5805	
E メールアドレス		hiroyuki-kudo@re-tem.com		

8.4.2 技術情報(1)

キーワード	高性能特殊破砕機による高精度リサイクル
技術名称	破砕・選別技術
技術の分類	破砕・選別
目的・用途	高性能特殊破砕機を導入し、鉄スクラップのリサイクルと共に、鉄以外の有用な非鉄貴金属を選別リサイクルしています。
特長	SET 内の東京工場と水戸工場の2工場連携：東京工場で破砕処理した非鉄金属混合物を水戸工場ですらに高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウム等に細かく選別し、埋め立て処分向けの廃棄物の発生を無くし、ゼロエミッションを達成させています。
設備、製品等の写真、イメージ	

処理フロー図

東京工場の処理フロー



*木くず(物品品質業に係る木くず及び貨物の流通のために使用したパレットに限る)は、破砕後2次委託先で再資源化処理をしています。

廃棄物の種類

産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	廃小型家電類(家電4品目以外)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	その他金属くず(品目:金属系複合材・電子電気機器・情報通信機器)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
産廃	その他(コンクリートくず)	受入条件、形状	
産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	
産廃	廃木材	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
有償	その他(金属くず・廃プラ類)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
一廃	その他(普通ごみ)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可

供給資源・製品	鉄シュレッダー		形状	シュレッダー機械加工したもの
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・埋め立て処分向けの廃棄物の発生を無くし、ゼロエミッションを達成させています。 ・施錠保管、監視カメラ等万全を期すセキュリティ体制により情報漏洩や盗難を防止します。 ・再資源化完了報告書の発行サービスを実施しています。 	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	高性能特殊破碎設備及び2工場の連携により、高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウム等に細かく選別しており、純度が高い製品となります。	

8.4.3 技術情報(2)

キーワード	収集→処分→新規設置の一括請負によるワンストップサービス
技術名称	収集運搬技術
技術の分類	収集・運搬・保管
目的・用途	廃棄物・有価物の収集運搬
特長	貨物自動車運送事業(青ナンバー)を取得し、当工場への収集運搬の他、新しい什器・備品等の運搬・設置作業等も行い、業務管理の一元化をご提供しています。
設備等の写真	

廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	廃小型家電類(家電4品目以外)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	その他金属くず(品目:金属系複合材・電子電気機器・情報通信機器)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
	産廃	その他(コンクリートくず)	受入条件、形状	
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	
	産廃	廃木材	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	貨物自動車運送事業(青ナンバー)を取得し、当工場への収集運搬の他、新しい什器・備品等の運搬・設置作業等も行い、業務管理の一元化をご提供しています。	

8.4.4 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	金属くず	4,700	9,900	t
	廃プラスチック類	1,200	2,200	t
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	280	590	t
	木くず	12	110	t
受入可能量	混合物	-	80,000	t
販売実績量の推移	金属くず	4,700	9,900	t
主な調達先	主に製造業、リース業など			
主な供給先	主に製鉄業など			

<p>技術開発の実績 (過去5年間)</p>	<p>平成23年3月より独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)助成事業「電子基板等からのタンタル回収の実用化にむけた研究開発」(以下、本事業)を実施し、その結果、世界初の電子基板からのタンタルコンデンサ回収のための実用可能なラインを構築しました。</p>
<p>海外展開の実績 (過去5年間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国太倉市の自社工場と国内自社工場の連携により、廃プラ類やハーネス類を中心に国際資源循環へ取り組んでいる。 ・中国天津市の天津経済技術開発区(TEDA)でEIDの実現を目指して事業展開を進めている。 <p>平成22年より経済産業省「茨城県-天津市循環型都市協力事業」として3年間、現地で工業系廃棄物のマテリアルフロー調査や産官学の協力体制づくり、廃棄物の管理報告制度の試験導入に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国を中心に、海外拠点における廃電気電子機器等のリサイクル技術および設備の導入展開を行っている。
<p>補助金等支援策の活用実績(過去5年間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省「使用済小型家電の回収モデル事業(茨城県事業運営業務)」(H.20-H.22年) ・経済産業省「茨城県-天津市循環型都市協力事業」(H.22-H.25年) ・NEDO「電子基板等からのタンタル回収の実用化研究」(H.23-H.24年) ・環境省「静脈産業の海外展開促進のための実現可能性調査等支援事業」(H.24-H.25年) ・経済産業省「インフラ・システム輸出促進調査等」(H.24-H.25年)

12.4 株式会社アイザック

12.4.1 事業者情報

名 称	株式会社アイザック			
本社住所	〒937-0816	富山県魚津市大海寺野 1181		
資本金、出資金	99,000 千円			
従業員数	405 人(内エネルギーセンター 33 人)			
設立年月日	昭和 38 年 7 月 2 日			
URL	http://www.izak.co.jp			
事業概要	<p>・本事業は、「廃棄物エネルギーリサイクル事業」として抑制燃焼方式によって廃棄物を焼却処理し、発生するエネルギーを回収して発電し電力供給、さらに発電で使用した低温排熱も温水として他事業所に供給しています。本施設は環境配慮型の焼却施設であり、削減される CO2 は約 16,000 トン/年で環境省の「廃棄物処理施設における温暖化対策事業」として補助金を戴いています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	環境事業本部 エネルギーセンター 業務課		
	担当者名	浜野 昭弘		
	連絡先	電話番号	076-471-5100	
		FAX	076-471-5511	
E メールアドレス		a-hamano@izak.co.jp		

12.4.2 技術情報

キーワード	廃棄物処理、再資源化			
技術名称	抑制燃焼式 キルン・ストーカー炉(ロータリーキルン・火格子)			
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却			
目的・用途	富山市エコタウン構想に基づき、本施設はこれまで処理困難とされてきた産業廃棄物を安全かつ安定的な焼却処理になっていることと同時に高効率発電を行っている。			
特長	<p>廃棄物エネルギーリサイクル事業として、抑制燃焼方式によって焼却処理し、発生するエネルギーを熱回収して発電し自社の電力供給、余剰電力は売電、蒸気を利用した汚泥乾燥、さらに発電で使用した後の低温排熱温水として近隣の企業に供給しています。またガス化焼却炉によって完全燃焼して、ダイオキシン、CO、二酸化窒素の排出を抑制、環境負荷の軽減化を図っています。</p>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	燃え殻	受入条件、形状	特になし
	産廃	汚泥	受入条件、形状	特になし
	産廃	廃油	受入条件、形状	特になし
	産廃	廃酸	受入条件、形状	重金属含有以外
	産廃	廃アルカリ	受入条件、形状	重金属含有以外
	一廃・産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	特になし
	産廃	その他(金属くず、木くず、動植物性残渣、建築廃材)	受入条件、形状	当社破砕機で破砕可能な物
	産廃	感染性産業廃棄物	受入条件、形状	600mm×400mm×400mm 以内の医療系ボックス

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・発電した電気の自社利用分にて J-VER 制度に登録。J-VER クレジットの創出を行います。 ・本施設は、環境配慮型の焼却施設であり、削減されるCO2は年間で16,000トン/年となり、富山県の STOP 温暖化事業の中の新エネルギーにて削減目標の約 30%に相当します。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学受入者数 626 人 (平成 24 年 EC 実績)

12.4.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥(特管含む)	0	9,678	t
	廃油(特管含む)	0	14,357	t
	廃酸、廃アルカリ(特管含む)	0	8,204	t
	廃プラ(産廃)、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、動植物性残渣	0	4,038	t
	燃え殻、ばいじん(特管含む)	0	38	t
	廃プラスチック(一般)	0	3,915	t
	感染性産業廃棄物	0	785	t
受入可能量	汚泥(特管含む)	-	10,034	t
	廃油(特管含む)	-	14,886	t
	廃酸、廃アルカリ(特管含む)	-	8,506	t
	廃プラ(産廃)、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、動植物性残渣	-	4,187	t
	燃え殻、ばいじん(特管含む)	-	40	t
	廃プラスチック(一般)	-	4,059	t
	感染性産業廃棄物	-	813	t
主な調達先	非公開			

主な供給先	北陸電力株式会社(売電)
設備投資の実績 (過去5年間)	非公開
補助金等支援策の活用 実績(過去5年間)	非公開

13.4 株式会社三進製作所

13.4.1 事業者情報

名 称	株式会社三進製作所			
本社住所	〒453-0013	名古屋市中村区亀島 2-22-2		
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数	102 人			
設立年月日	昭和 23 年 9 月 1 日			
URL	http://www.sanshin-mfg.co.jp/			
事業概要	<p>創立 65 周年のろ過機のパイオニアメーカーです。ろ過・排水処理・リサイクルを事業柱に水処理を通じて環境保護・保全に取り組んでいます。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理本部 企画管理室		
	担当者名	中野 博文		
	連絡先	電話番号	0568-67-0451	
		FAX	0568-68-3240	
E メールアドレス		nakano@sanshin-mfg.co.jp		

13.4.2 技術情報

キーワード	めっき水洗工程のクローズド化と資源リサイクルセンターによる金属資源回収			
技術名称	イオン交換法によるめっき洗浄水の精製、循環利用と、飽和樹脂の集中再生処理で再生溶離液から単体金属の回収と再資源化			
技術の分類	レアメタル・レアアース等希少金属回収、汚泥、排水処理			
目的・用途	めっき水洗工程で発生する洗浄排水をほぼ 100%循環再利用し、使用水量が従来の 1/10 に低減させる。また、従来排水処理で発生した廃棄物(汚泥)の削減と含有金属の回収再資源化を行う。			
特長	排水処理設備を持たない又は設置スペースが少ない中小規模の事業所に最適な可搬式ポンベ型イオン交換装置と使用済みのイオン交換樹脂を引取り再生し繰り返し使用可能とした再生サービス事業を構築する事で、全国区でのユーザー確保と 30 年以上の事業継続を行っている。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	使用済みイオン交換樹脂(顧客所有物)	受入条件、形状	ボンベ型容器にイオン交換樹脂が充填された状態
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	ボンベ型イオン交換機による水回収・増水効果として平均 50 万 m ³ /年 全国水道料金・平均 1,473.5 円/10 m ³ で換算すると 年間 73,675 千円の水道料金削減に相当する	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	同上	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	2007 年に愛知環境賞・銀賞 2012 年産業環境管理協会会長賞	

13.4.3 実績情報

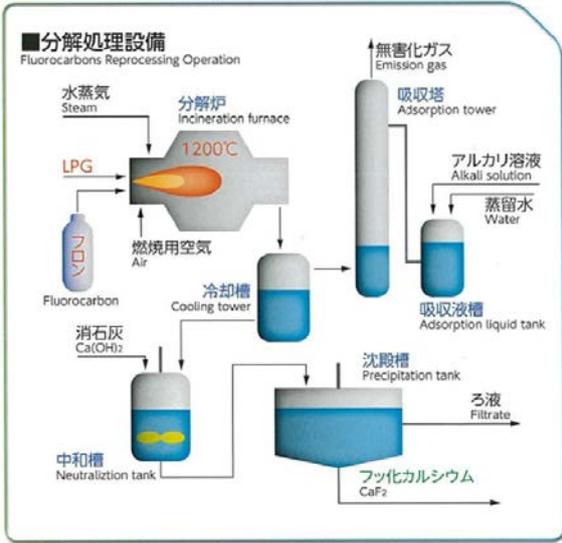
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	イオン交換樹脂	344	303	m ³
受入可能量	イオン交換樹脂	-	500	m ³
販売実績量の推移	金属含有スラッジ	537	670	kg
	(銅、ニッケル、金等)	-	-	
主な調達先	めっき事業者			
主な供給先	めっき事業者			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	昭和 51 年に当社犬山工場で稼働した資源化センターは、再生溶離液を金属種別毎に分別しスラッジ化し山元精練所に金属資源として売却していたが、2010 年愛知県先導的リサイクル施設整備事業の助成金を受け、資源化センター内に再生溶離液から直接メタル回収する電析装置を開発し現在もテスト稼働を継続している。また、現在資源化センター事業の特許化に向け出願準備中である。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	2010 年 資源化センター内のホウ素・フッ素処理設備を改造し、銅、ニッケルの金属回収設備とクロム酸濃縮設備を追加した。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	2010 年愛知県先導的リサイクル施設整備事業の助成金を活用			
その他実績	平成 24 年度 資源循環技術・システム表彰制度で産業環境管理協会会長賞を受賞。以後国内展示会(メッセ名古屋、エコプロダクツ 2013 等)に出展PRを展開中。			

17.5 メキシケムジャパン株式会社

17.5.1 事業者情報

名 称	メキシケムジャパン株式会社			
本社住所	〒140-0002	東京都品川区東品川 2 丁目 2-20 天王洲郵船ビル 14 階		
資本金、出資金	320,000 千円			
従業員数	50 人			
設立年月日	平成 4 年 5 月			
URL	http://www.mexichemfluor.co.jp/			
事業概要	各種フルオロカーボンの製造販売、フルオロカーボン類の分解処理、再生			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	HFC工場		
	担当者名	村上義行		
	連絡先	電話番号	0848-67-5230	
		FAX	0848-67-5232	
E メールアドレス		yosh.murakami@teijin.co.jp		

17.5.2 技術情報

キーワード	回収フロン類、分解、リサイクル			
技術名称	炉内分解型液中燃焼法.			
技術の分類	有害廃棄物処理			
目的・用途	オゾン層破壊、地球温暖化の原因物質であるフロン類の破壊処理			
特長	多種類のフロン類の破壊が可能。全国一の処理能力を保有			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	 <p>炉内分解型液中燃焼方式分解炉</p>			
廃棄物の種類	一廃・産廃	その他(フロン類)	受入条件、形状	ボンベ、ドラム缶等
供給資源・製品	高純度 HFC134a		形状	ボンベ
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	国内最大規模の処理能力を有し、高い分解効率、多種類のフロン類が処理できること、排ガス基準に対する高い信頼性、低処理コスト、迅速なフロン類回収容器の返却	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	原材料から得られる製品と同品質の高純度製品	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	日刊工業新聞社「オゾン層保護大賞」(1999年) 広島県「ひろしま環境賞(知事賞)」(2000年)	

17.5.3 実績情報

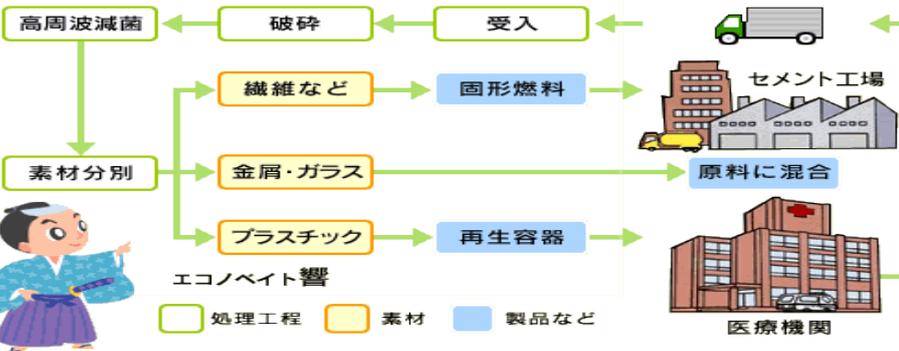
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	フロン類	非公開	非公開	トン
受入可能量	フロン類	-	非公開	トン
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			

22.8 麻生鉱山株式会社 北九州事業所エコノベイト響

22.8.1 事業者情報

名 称	麻生鉱山株式会社 北九州事業所 エコノベイト響			
本社住所	〒808-0021	福岡県飯塚市芳雄町 7 番 18 号		
資本金、出資金	450,000 千円			
従業員数	18 人			
設立年月日	昭和 50 年 7 月 22 日			
URL	http://www.aso-group.co.jp/eco-hibiki/			
事業概要	医療用具を破砕・高周波処理・分別し、固形燃料化してセメント原料等にリサイクル			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	環境事業室		
	担当者名	橋本 健一		
	連絡先	電話番号	093-761-2311	
		FAX	093-761-2101	
E メールアドレス		tsunawaki-m01@aso-group.co.jp		

22.8.2 技術情報

キーワード	医療器具リサイクル		
技術名称	高周波滅菌・固形燃料化		
技術の分類	その他(破碎・滅菌・選別・分級・固形燃料化)		
目的・用途	固形燃料／石炭代替燃料としてセメント工場等で利用されます。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	受入条件、形状	段ボール箱、プラ容器
供給資源・製品	減容固化物(固形燃料)	形状	ソーセージ状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	環境負荷削減効果、等
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	品質安定・安価(逆有償)
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学受入

22.8.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	感染性廃棄物	非公開	非公開	kg
受入可能量	感染性廃棄物	-	非公開	kg
販売実績量の推移	減容固化物	非公開	非公開	kg
主な調達先	医療機関			
主な供給先	セメント工場、焼却炉(発電)など			

22.17 光和精鉱株式会社

22.17.1 事業者情報

名 称	光和精鉱株式会社			
本社住所	〒804-0002	福岡県北九州市戸畑区大字中原 46-93		
資本金、出資金	10 億円			
従業員数	150 人			
設立年月日	1961/2/10			
URL	http://www.kowa-seiko.co.jp/			
事業概要	<p>○製鉄ダストのリサイクル ～ 新日鐵住金(株)八幡製鐵所で発生する製鉄ダストを処理(=「塩化揮発による不純物元素の除去」と「成型・焼成」)し、製鉄ペレットとして再資源化</p> <p>○各種廃棄物の処理 ～ 上記の処理プロセスの中で、各種の廃棄物を処理(=「廃油による燃料油の代替 等の廃棄物による原燃料の代替」や「含塩素廃棄物を塩化揮発の塩素源として活用 等の補助材料化」により、廃棄物を有効活用しつつ処理)を実施し、「要埋め立て残渣を生じないゼロエミッション」の廃棄物処理を実現。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	戸塚 司		
	連絡先	電話番号	093-872-2100	
		FAX	093-884-0666	
E メールアドレス		totsuka@kowa-seiko.co.hjp		

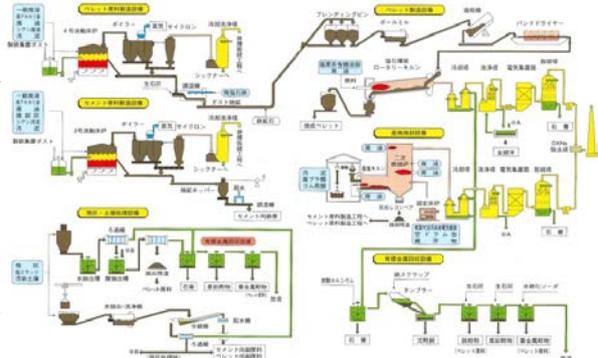
22.17.2 技術情報(1)

キーワード	製鉄ダスト, リサイクル, 塩化揮発			
技術名称	製鉄ペレットの製造			
技術の分類	加工・成型(再生品化)			
目的・用途	製鉄ダストのリサイクル			
特長	塩化揮発法により、不純物除去と成型・焼成を実施			
設備、製品等の写真、イメージ	 ペレットキルン  製鉄ペレット			
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	製鉄ダスト	受入条件、形状	高炉集塵ダスト
供給資源・製品	製鉄ペレット		形状	10mm φ
アピールポイント	<p>廃棄物等排出者側のメリット</p> <p>例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</p>	<p>製品購入者側のメリット</p> <p>例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等</p>	<p>八幡製鐵所より原料となる製鉄ダストを購入し、生産した製鉄ペレットは八幡製鐵所に販売する。八幡製鐵所にとっては、「貴重な鉄原を社外に流出させる事無く、自社の原料として再利用できる。」、「高不純物・粉状で使用困難な製鉄ダストが、低不純物・球形の製鉄ペレットに加工される事により、高炉原料として使用可能となる。」等の点で、メリットがある。また、除去した製鉄ダスト中の不純物元素(Zn, Pb等)についても、回収して非鉄精錬会社に非鉄金属原料として販売・活用している。製鉄ダストに含まれる炭素分(コークス粉由来)も、焼却熱で蒸気を作る事で熱回収している。マテリアルリサイクル, サーマルリサイクルで総合的なリサイクルを実現している。</p>	

22.17.3 技術情報(2)

キーワード	廃棄物, リサイクル, セメント原料		
技術名称	セメント焼鉱の製造		
技術の分類	加工・成型(再生品化)		
目的・用途	廃棄物中の鉄分をセメント原料として有効活用		
特長	流動焙焼炉を使用した焙焼処理		
設備等の写真			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	各種産業廃棄物	受入条件、形状
供給資源・製品	セメント焼鉱		形状 粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	金属元素も含有する廃棄物では、埋め立て処理する場合には不溶化処理で処理費が高くなる。当社で処理する場合には、そうした手間やコストを必要としなくなる。
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	セメント焼鉱を購入するセメント会社にとっては、「セメント原料の一つとして必要な鉄分の、長期的・安定的な供給源が確保できる。」という点でメリットがある。

22.17.4 技術情報(3)

キーワード	廃棄物, 焼却, 再資源化, ゼロエミッション		
技術名称	産業廃棄物の処理		
技術の分類	有害廃棄物処理		
目的・用途	各種の産業廃棄物の処理		
特長	ゼロエミッション(=要埋立て残渣無し), 高塩素含有物等の難処理物の処理にも対応		
設備等の写真	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">産廃炉</div>		
処理フロー図	<p>産廃炉を中核に、処理を実施。項目名に青枠かけているのが廃棄物で、その性格に応じた工程にて処理を実施する。</p> 		
廃棄物の種類	一廃・産廃	汚泥, ASR, 燃え殻, 飛灰	受入条件、形状
	産廃	廃油, 廃アルカリ, 廃酸	受入条件、形状
	産廃	その他の各種廃棄物	受入条件、形状
供給資源・製品	水酸化亜鉛		形状 粉状
	銅滓		形状 粉状
	石膏		形状 粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	塩化揮発を中核とした処理工程で処理するため、難処理物(～高ハロゲン物を含めた多様な難処理物)に対応でき、且つ、ゼロエミッションでその処理が出来る。

22.17.5 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	32,246	27,620	Ton
	廃油	39,452	30,467	Ton
	廃酸	40,206	35,227	Ton
	廃アルカリ	60,262	54,978	Ton
	その他の各種廃棄物	28,050	20,737	Ton
販売実績量の推移	製鉄ペレット	116,827	116,975	Ton(Dry)
	セメント焼鉱	33,167	12,051	Ton(Dry)
	水酸化亜鉛	3,852	3,376	Ton(Dry)
	銅滓・金銀滓	975	591	Ton(Dry)
	その他(石膏 等)			Ton(Dry)
主な調達先	<p>主要な原燃料の調達先は新日鐵住金(株)八幡製鐵所〔製鉄ダスト, LD G〕。副資材(排水処理の石灰・炭酸カルシウム など)については、省略。</p>			
主な供給先	<p>当社の業である製鉄ダストのリサイクル, 及び, 廃棄物(産廃, 一廃)の処理を通じて生産・回収した製鉄ペレット, 蒸気, セメント焼鉱, 水酸化亜鉛, 銅滓, 石膏 等については、製鉄業, 非鉄製錬業, セメントへ向けて出荷・販売しています。</p>			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	<p>製鉄ダストの処理について長年の研究実績があります。</p>			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	<p>年間約 10 億円程度の設備投資を行っています。</p>			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	<p>当社事業としての海外展開は実施していません。</p>			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	<p>グリーンニューディール事業の補助金を受けております。</p>			

22.18 楽しい株式会社

22.18.1 事業者情報

名 称	楽しい株式会社			
本社住所	〒808-0002	北九州市若松区向洋町 10-1 北九州エコタウン実証研究エリア内		
資本金、出資金	35,000 千円			
従業員数	8 人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	http://www.fun-c.jp			
事業概要	<p>●北九州エコタウン発 廃棄物とバイオマスの新資源化システムの提案 ★食品廃棄物の新資源化システム ★可燃ごみ・バイオマス等の熱分解炭化技術 ★廃プラスチック・廃食用油・バイオマス等の接触分解油化技術</p> <p>●本格循環いも焼酎「明月五良」の企画・販売</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	メリーズシステム事業部		
	担当者名	松尾隆貴		
	連絡先	電話番号	093-752-5300	
		FAX	093-752-5303	
E メールアドレス		ceres@fun-c.jp		

22.22 株式会社ユーコーリプロ

22.22.1 事業者情報

名 称	株式会社ユーコーリプロ			
本社住所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 5 丁目 24-30		
資本金、出資金	400,000 千円			
従業員数	157 人 / 委託込 239 名			
設立年月日	平成 4 年			
URL	http://www.yuko-repro.co.jp/			
事業概要	使用済み遊技機の買取りサービス、処理サービス及びリユース部品・リサイクル原料としての製品化			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	営業企画部		
	担当者名	碓 千賀子		
	連絡先	電話番号	092-725-6045	
		FAX	092-725-6054	
E メールアドレス		ch-ikari@yuko-repro.co.jp		

22.22.2 技術情報

<p>キーワード</p>	<p>使用済み遊技機、ぱちんこ、パチスロ、リサイクル、処理、循環型リサイクル、リユース</p>			
<p>技術名称</p>	<p>使用済み遊技機のリサイクル</p>			
<p>技術の分類</p>	<p>破碎・選別</p>			
<p>目的・用途</p>	<p>使用済み遊技機の適正処理による不正海外流出・国内不法投棄の防止並びに環境負荷の低減</p>			
<p>特長</p>	<p>ぱちんこメーカーの組合である日本遊技機工業組合とのタイアップにより、処理費・運賃無償で全国から使用済み遊技機を回収・処理を行っている。製造メーカーや機種によって異なる仕様である遊技機を、人の手で細かく分解・選別することで高いリサイクル率を維持している。</p>			
<p>処理フロー図</p>	<p>The flowchart, titled 'PERFECT RECYCLE PLANT SYSTEM FLOW CHART', details the recycling process. It starts with '回収' (Collection) at a '指定回収センター' (Designated Collection Center) and '保管' (Storage). The process then moves to '分解作業' (Disassembly) and '選別' (Sorting). The sorted materials are categorized into three streams: 1. リユース (再利用) (Reuse), 2. マテリアルリサイクル (再資源化) (Material Recycling/Resource Recovery), and 3. 燃焼残渣リサイクル (焼却残渣リサイクル) (Incineration Residue Recycling). Stream 1 includes '金属' (Metal) and '樹脂' (Resin). Stream 2 includes '木くず' (Wood chips), '鉄' (Iron), 'プラスチック' (Plastic), 'ガラス' (Glass), and '紙' (Paper). Stream 3 includes 'セメント' (Cement) and '灰' (Ash). The final products are: 'パチンコ遊技機・カーナビなど' (Pachinko machines, car navigation, etc.), '鉄原料' (Iron raw material), 'パーティクルボード' (Particle board), '混合樹脂製品' (Mixed resin products), '黒色炭素' (Black carbon), 'プラスチックレット' (Plastic pellets), '再資源' (Resource recovery), and 'セメント原料' (Cement raw material).</p>			
<p>廃棄物の種類</p>	<p>有償</p>	<p>その他(使用済み遊技機)</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>排出者がホール、販売社等であること</p>
	<p>産廃</p>	<p>その他(使用済み遊技機)</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>排出者がホール、販売社等であること</p>
<p>供給資源・製品</p>	<p>プラスチック樹脂</p>	<p>形状</p>	<p>破碎品</p>	
<p>供給資源・製品</p>	<p>金属くず</p>	<p>形状</p>	<p>破碎品</p>	
<p>供給資源・製品</p>	<p>木くず</p>	<p>形状</p>	<p>破碎品</p>	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・排出者は処理費・運賃無償で遊技機を排出できる。(処理費・運賃はメーカー負担) ・全国回収 ・法令を遵守した適正処理
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・遊技機という限定されたものから発生するプラスチック樹脂や鉄・非鉄金属原料であるため、製品の品質が安定している。 ・低価格なリユース部品販売
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・約 200 人の施設見学受入を実施。(2013 年度実績) ・平成 25 年度 北九州市産業廃棄物処分量優良業者表彰受賞 ・ISO14001 認証維持 10 周年 表彰受賞 ・業界内での循環型リサイクルに貢献

22.22.3 実績情報

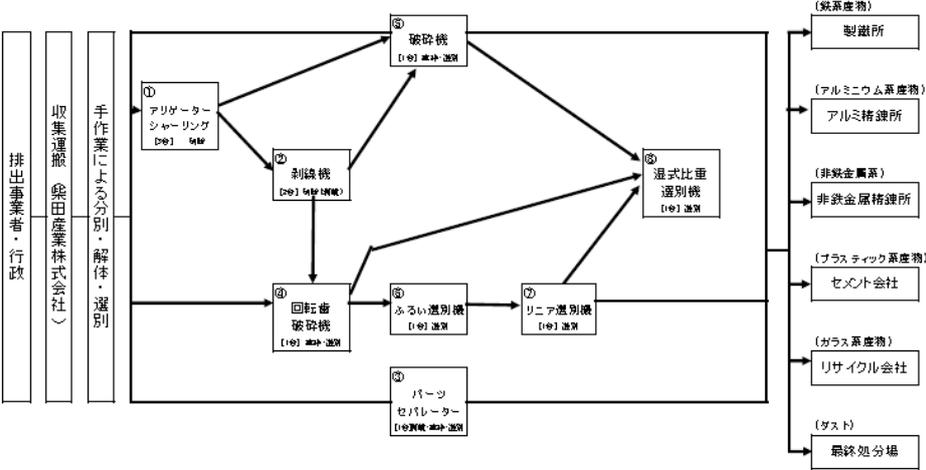
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	使用済み遊技機	非公開	非公開	台
受入可能量	使用済み遊技機	-	非公開	台
販売実績量の推移	リユース液晶	非公開	非公開	kg
	その他リユース部品	非公開	非公開	kg
	廃プラ	非公開	非公開	kg
	木くず	非公開	非公開	kg
	金属くず	非公開	非公開	kg
主な調達先	ぱちんこ・パチスロホール、販社等			
主な供給先	遊技機メーカー、商社等			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	リユース部品検品室を施工。 これにより、リユース部品の品質向上を実現することに成功し、リユース部品として販売できる品目が増加。			

23.4 柴田産業株式会社(大牟田エコリサイクルセンター)

23.4.1 事業者情報

名 称	柴田産業株式会社			
本社住所	〒830-0048	福岡県久留米市梅満町 1246 番地の 1		
資本金、出資金	12,000 千円			
従業員数	70 人			
設立年月日	昭和46年			
URL	http://www.shibata-3r.co.jp			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器、電子部品、通信機器類、使用済小型家電の MATERIAL リサイクル ・プリント基板よりレアメタル(タンタル)を抽出 ・公認計量事業(70tスケール)、銅・アルミ・ステンレス買入れ ・非鉄金属専門問屋 			
事業所写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>大牟田エコリサイクルセンター</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>大牟田第二工場</p>  </div> </div>			
問合せ先窓口	部署名	大牟田エコリサイクルセンター		
	担当者名	本村 龍一		
	連絡先	電話番号	0944-41-1341	
		FAX	0944-41-1348	
E メールアドレス		recycle2@shibata-3r.co.jp		

23.4.2 技術情報

キーワード	使用済小型電子機器、廃基板、廃IC、レアメタル(タンタル)			
技術名称	解体粉碎選別技術			
技術の分類	ベースメタル、貴金属、レアメタルのリサイクル			
目的・用途	使用済小型電子機器、使用済産業機械、通信機器等の廃基板よりレアメタルをリサイクルする。			
特長	都市鉱山と言われる廃基板からレアメタルを抽出するためのきめ細かな選別を可能としました。			
設備、製品等の写真、イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div> <p>破碎選別ライン</p>  </div> <div> <p>リニア選別機</p>  </div> <div> <p>篩選別機</p>  </div> </div>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	その他金属くず	受入条件、形状	産業用機械等
	産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	塩ビ管など塩素を含まない物
	一廃	廃小型家電類 (家電4品目以外)	受入条件、形状	行政等で回収された使用済み電子機器等
	有償	その他(ケーブル)	受入条件、形状	電力・通信等のケーブル
	有償	その他金属くず (品目:銅・真鍮・砲金・アルミ等)	受入条件、形状	スクラップ等

供給資源・製品	廃基板		形状	破砕品
	タンタル		形状	基板より小型コンデンサー切り取り
	アルミ缶・スチール缶・解体サッシ等		形状	プレス品
	銅線・アルミ鋼線		形状	ナゲット
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却埋立処分を減量し再資源化することで循環型社会構築に貢献できる。 ・日本はほぼ全てを輸入に依存している希少金属(レアメタル)の備蓄が可能となる。 	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	バージン資源に劣らぬ品質と低価格で調達でき、環境負荷も軽減できるという二つの側面から社会貢献できます。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> ・350人の施設見学の受け入れを実施(24年実績) ・全国産業廃棄物連合会 大1回「優良従事者表彰」受賞(23年受賞) ・「福岡県ゼロエミッション推進処理事業者知事表彰」受賞(24年受賞) ・全国産業廃棄物連合会「地方功労者表彰」受賞(25年受賞) 	

23.4.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラ	非公開	非公開	t
	ガラス屑	非公開	非公開	t
	金属屑	非公開	非公開	t
	廃プラ・金属屑	非公開	非公開	t
	がれき類	非公開	非公開	t
受入可能量	廃プラ	-	4,500	t
	ガラス屑	-	1,300	t
	金属屑	-	14,500	t
	廃プラ・金属屑	-	9,500	t
	がれき類	-	5,100	t
主な調達先	主に電力会社・通信業・家電製造業など			
主な供給先	製鉄所・アルミ精錬所・非鉄金属精錬所・セメント会社など			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	製錬会社と提携し、廃基板よりタンタル(レアメタル)を抽出技術。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	4 億円を投じて大牟田エコタウン内に第二工場を建設。これによってリサイクル率が 97%超となった。			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	・韓国蔚山市において「電子基板から得られるレアメタル濃縮技術」について講演を行った。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	・経済産業省「希少金属利用産業等高度化推進費補助金」(22 年) ・大牟田市「企業立地奨励金」(25 年)			
その他実績	平成 25 年 4 月 1 日施行の「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づく「再生資源化事業計画」の認定を受け認定事業者として広域回収を行っています。			